



南条つ子

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

南条小学校だより

令和4年9月9日発

第23号



○ 稲刈り体験 (5年生)

9月6日(火)に、5年生が、南越前町杣木俣にある田で、稲刈りを行いました。今回は、久しぶりに南条小、今庄小、河野小の3校が集まり、行うことができました。(湯尾小は、学校近くの田で独自で実施。場所が、リトリートたぐらの近くから、杣木俣に変更になりました。)

農業離れと機械化が進み、こうした体験をすることがほとんど失われているだけに、短い時間ではありましたが、とても貴重な体験になったと思います。ほとんどの児童にとって初めての体験で、楽しそうに行っていました。腰を曲げての手作業に、これを長時間続けたらと想像するだけで、昔のお百姓さんの苦勞が少しは分かったのではないかと思います。

なお当日、ケーブルテレビの取材がありましたので、後日、テレビでもご覧ください。



昔の米づくり(昭和30~40年代)



それぞれ何をしているところか、分かりますか？ 小さい頃、お風呂の浴槽に種籾を漬けて、芽出しを行っていた記憶があります。しばらくは、お風呂に入れませんでした。

○ 夏休み作品展

夏休みに取り組んだ作品が、中ホールに展示されています。どの作品も力作ばかりです。



【教育評論家 親野 智可等 先生の話】 抜粋

子どもにやって欲しいことは具体的に指示する。疑問形や抽象的な言い方はNG
親が子どもにやらせたいことがあるとき、それをうまく伝えていないことが多いように思います。「疑問形」で言ったり「抽象的」に言ったりするので、子どもにわかりにくいのです。それで、何をどうすればいいかわからないのです。ですから、子どもにやって欲しいことは、「具体的に」に「指示」することが大切です。 ※教員も心がけています。

- 疑問形をやめて具体的に指示する
 - 「こぼしたとき、どうしたらいいの?!」⇒「ティッシュで拭き取って」
 - 「いつになったら宿題を始めるの?!」⇒「5:30になったら宿題を始めよう」
 - 「勝手にどこに行くの?!」⇒「ここにいてね」
- 抽象的な指示をやめて具体的に指示する
 - 「はやくしなさい」⇒「7時50分までにやっちゃおう」
 - 「行儀よく食べなさい」「背筋を伸ばして食べよう」
 - 「脱いだ靴下が散らかってるでしょ!」⇒「脱いだ靴下は洗濯機にいれるよ」